

科目	コミュニケーション英語 (Communication English)		
担当教員	木津 久美子		
対象学年等	全専攻・1年・前期・必修・1単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	B-3(100%)	JABEE基準1(1) (f)
授業の概要と方針	2006年5月に改訂された新TOEICテストの出題方法を知り、慣れるために、毎回授業において、試験の各パート問題を解く。その中で、ハイスコアを取るための基本語彙力・文法力を身につけること、4種類の英語音(米・英・カナダ・オーストラリア)に慣れることを目標とする。また、授業で学習した語彙と文法・リスニング力を定着させるために、毎回簡単な復習小テストを行なう。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B-3】TOEICに頻出する単語・表現を身につける。		小テスト及び試験で評価する。
2	【B-3】TOEICに必要な文法事項を身につける。		小テスト及び試験で評価する。
3	【B-3】TOEICのListening理解に必要な音の特徴を理解する。		小テスト及び試験で評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%、小テスト30%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。試験は、到達目標1, 2, 3について、実際のTOEIC試験方式に則って短縮したものを、前期末に実施する。小テストは、前回授業内で既習した事項について、毎授業の始めに、10分程度実施する。		
テキスト	『Successful Steps for the TOEIC Test: A topic-based -Revised Edition (テーマ別TOEICテスト総合演習 改訂版)』 塚野壽一・山本		
参考書	英語文法書, TOEICテストに関する参考書		
関連科目	本科および専攻科の英語科目		
履修上の注意事項	授業内で学習しただけでは、英語力は身につかない。授業外で英語を学習する習慣をつけること。映画や小説、漫画、音楽、新聞、ニュースなど、テキスト以外のいろいろな英語に触れてほしい。また、どんな文法参考書でもよいから、一冊完読することが望ましい。TOEIC試験は、あくまでも自身の英語力を測る目安として捉えること。		

